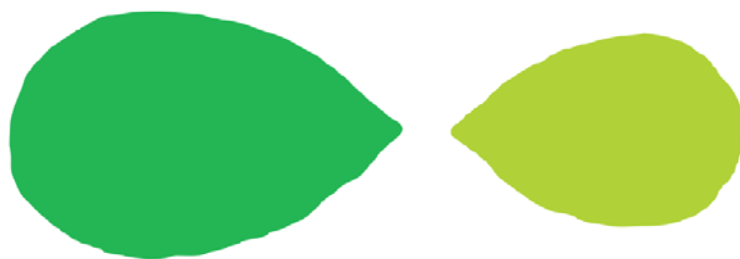


特定非営利活動法人ナック
平成29年度事業計画書及び予算書



N A C

Nature Adventure Culture

平成29年度事業計画書

はじめに

特定非営利活動法人ナック（NAC）（以下「ナック」という）は、青少年育成に専門的に携わった有志が参集し、平成13年12月に設立した事業型NPO法人です。

以来、ユースサービス エイジェンシー（youth service agency）として、自然体験・生活体験等の所謂「直接体験」機会の提供、体験活動推進のための「魅力的なプログラム」の開発と実践、優れた指導者・リーダーの養成、安全で快適な「活動の場」の提供などに努めてきました。とりわけ、「活動の場」については、指定管理者として、大阪府立青少年海洋センターをはじめ、府内4市（寝屋川、八尾、四條畷、柏原）の野外活動センターなどの青少年活動施設の運営にあたり、利用者ファースト（利用者本位）の運営姿勢に高い評価を得ているところで

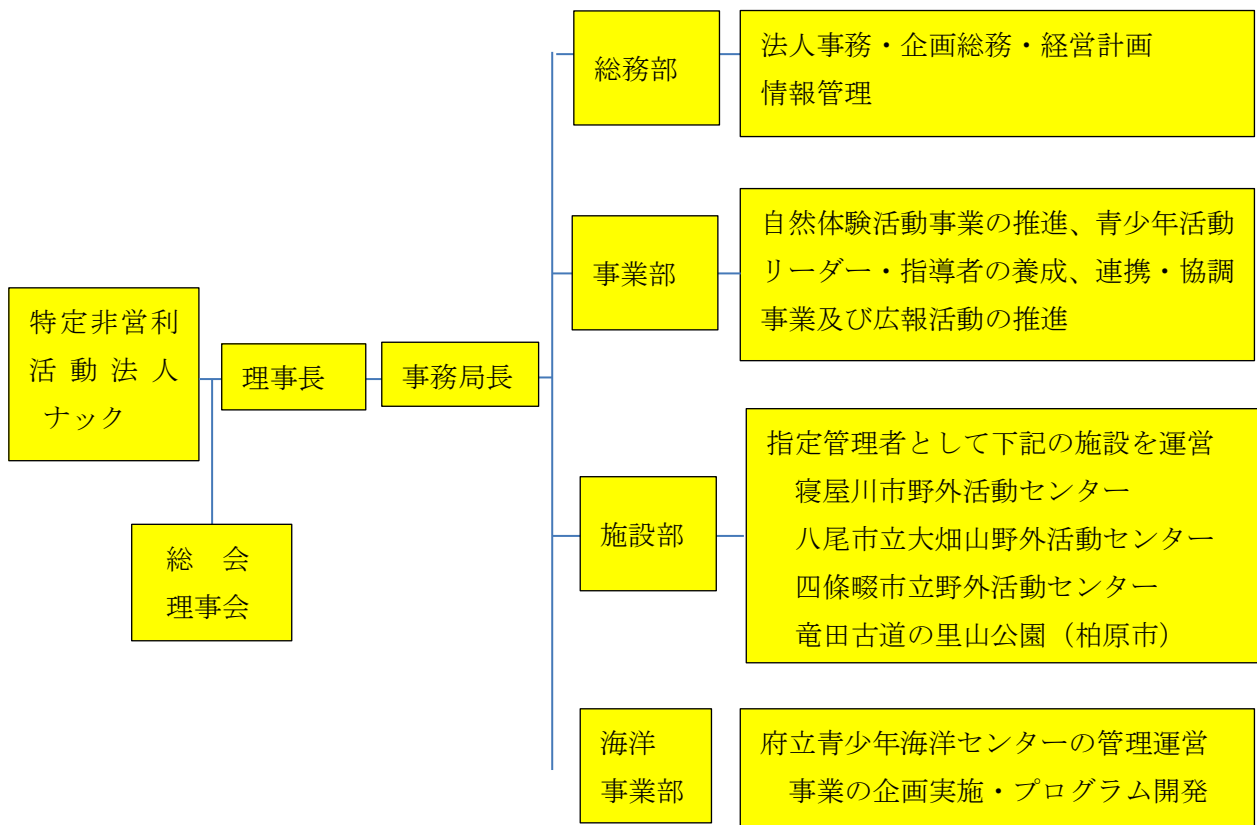
す。

平成29年度については、ナック設立の趣旨を再確認し、①全ての子どもを対象とした体験活動プログラムの開発・実施②ボランティアリーダーや青少年育成の専門的指導者の養成③安全安心の施設運営④関係機関団体との連携協調事業等の充実を図ります。

また、ナックの事業に賛助いただく支援者・サポーターの拡充を図り、事業基盤の整備に努め、認定NPO法人の認証に向け要件を整えます。

総務関係

1. 組織



2. 取組み

経営基盤の強化、組織機能の拡充をめざし次の取り組みを進めます。

- ① ナック内部のコミュニケーションを強化し、目標共有型の組織風土の醸成や運営推進態勢を整えます。
- ② 的確な経営判断に基づく収支状況の把握、予算の効率的執行に努めます。
- ③ 職員の専門的知識を高めるため、系統的段階的な研修を実施します。併せて、人事考課制度の導入や「志気（やる気）」の高揚に努めます。
- ④ ホームページ等の広報媒体の充実を図ります。また、外部への事業成果などの発信力を高め新たな顧客層の開拓や支援者・サポーターの拡充に努めます。
- ⑤ 危機管理に対する職員の意識やリスクマネジメント能力を高め、安全・安心の事業展開を図ります。
- ⑥ 事務機器などの効果的な導入・配置を行い、業務の効率化を推進し、経費支出の縮減に努めます。
- ⑦ 職員の福利厚生対策の充実を図るとともに、諸規定を整備し、職員の権利保護に努めます。

3. 会議

「総会（最高議決起機関）」及び「理事会」を下記の日程で開催します。

また、事務局内に「企画調整会議」を設け、業務調整や業務執行の迅速化を図るほか、ニーズに即した事業を企画・立案・実施のため随時プロジェクトチームを編成します。

総会

第1回総会 平成29年5月14日（日） 於 寝屋川市野外活動センター

第2回総会 平成30年3月18日（日） 於 寝屋川市野外活動センター

理事会

第1回理事会 平成29年4月10日（月） 於 ナック事務局

第2回理事会 平成30年2月19日（月） 於 ナック事務局

企画調整会議・各種プロジェクトチーム

随時

事業関係

1. 青少年の自然体験活動及び環境教育の推進に関する事業

事業内容	実施	実施場所	対象・人数
① サマーフェスタ in 竜田古道	7月	竜田古道の里山公園	一般 200人
②若狭の海サマーキャンプ	8月 3泊4日	国立若狭湾青少年自然の家	小中学生 40人
③生駒山系 ロングトレイルウォーク&キャンプ	8月 2泊3日	柏原市・竜田古道の里山公園～四條畷市・四條畷市立野外活動センター	小中高生 20人
④里山ふれあいキャンプ in 奈良・ 柚の川 (子ども夢基金申請中)	8月 3泊4日	奈良市柚の川町	小学生 30人
⑤海洋チャレンジキャンプ	8月 2泊3日	大阪府立青少年海洋センター	小学生 40人
⑥海洋チャレンジキャンプ・プレミアム	8月 2泊3日	大阪府立青少年海洋センター(海風館)	小中学生 40人
⑦オータムフェスタ in ノアの森	10月	寝屋川市野外活動センター	家族 200人
⑧チャレンジスキーin 信州大町・ 爺が岳	12月 3泊4日	爺が岳スキー場 長野県大町温泉郷	小中学生 40人
⑨ウィンターキャンプ in 曾爾	1月 2泊3日	国立曾爾青少年自然の家	小学生 40人
⑩千刈チャレンジキャンプ	年間	関西学院千刈キャンプ	小学生、家族、 団体200人

⑩天見子ども自然とあそびの教室 天見子ども自然とあそびの教室実 行委員会共催	5月～11月 全6回の例会	河内長野市天見公民館 及び周辺地域	小学生 30人
第1回 5月21日(日) 開会式・野や山の宝ものさがし 第2回 6月18日(日) ネイチャーゲーム体験 第3回 7月16日(日) 竹のクラフト(水鉄砲等) 第4回 9月17日(日) 川遊びと魚釣り 第5回 10月22日(日) どんぐり拾いと工作 第6回 11月12日(日) 家族でカーニバル・閉会式			

2. 青少年活動の指導者養成事業

① ユースワーカー養成講座

事業内容	実施	実施場所	対象・人数
第1回 ユースワーカーの概論	1月	大阪市内	一般 20人
第2回 ユースワーカーの研究・実践	2月	マリンロッジ海風館	一般 20人
第3回 ユースワーカーの発展	3月	大阪市内	一般 20人

② アウトドアリーダー(専属指導者)養成事業

事業内容	実施	実施場所	対象・人数
第1回 ガイダンス	4月(3回)	ドーンセンター	大学生 150人
第2回 体験会	5月	寝屋川市野外活動セ ンター他	大学生 150人
第3回 NPO法人ナックの理解 基礎技術研修	5月	寝屋川市野外活動セ ンター他	大学生 150人
第4回 普通救命講習(未受講者) 経験別理論・技術研修	6月	寝屋川市野外活動セ ンター他	大学生 150人
第5回 新人委嘱式、夏季事業研修	7月	寝屋川市野外活動セ ンター他	大学生 150人

第6回 夏季事業評価研修	9月	寝屋川市野外活動センター他	大学生 150人
第7回 ナック運営施設合同研修	11月	大阪府立青少年海洋センター他	大学生 150人
第8回 ランクアップ研修、卒業式 (感謝式)	2月	寝屋川市野外活動センター他	大学生 150人

③ 指導者養成講座

自然体験活動指導者養成講習会 (NEALリーダーの養成)	6月 11月	寝屋川市野外活動センター	一般 20人
星空案内人養成講座	9月～3月	四條畷市立野外活動センター	一般 20人
イニシアティブゲーム体験講習会	3月	寝屋川市野外活動センター他	一般 20人
プロジェクトワイルド体験講習会 Growing up Wild体験講習会	2月	柏原市竜田古道の里山公園	一般 20人
プロジェクトWET体験講習会	2月	大阪府立青少年海洋センター他	一般 20人

3. 指導員の派遣事業

派遣先施設	運営管理団体
東大阪市立野外活動センター (東大阪市六万寺町 1-1668)	財団法人大阪府青少年活動財団
関西学院千刈キャンプ (三田市香下 1817-1)	東急ファシリティサービス株式会社

4. 野外活動施設の管理運営

平成29年度はつぎの5施設の指定管理者として、「利用者ファースト（利用者本位）」の運営に努めます。

(1) 寝屋川市野外活動センター

寝屋川市野外活動センターは、平成17年4月1日からナックが指定管理者として運営に当たっています。現在の指定管理期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間です。

当センターは、ロッジ10棟、野外炊事場2か所、シャワー棟、天体ドーム、工作室などの施設があり、生涯学習、スポーツの場として利用できます。ロッジには冷暖房設備を備え、炊事場には温水設備があり、季節を問わずどなたでも快適に利用できます。

12年間の指定管理者としての経験と実績を生かし、安心、安全の施設管理と利用者本位の運営に努めています。

施設概要

所在地 大阪府四條畷市下田原 2237

面積 19,929 m²

主要施設 ロッジ10棟（宿泊定員250名）、炊事場2か所（温水設備有）、シャワー棟、工作室、自然学習室、天体ドーム、野鳥観察小屋、アスレチック施設、オリエンテーション広場（屋外ステージ）、管理事務所、管理棟（会議室・浴室・保健室）、展望台



平成29年度の計画

・利用人数 23,000人

宿泊 14,400人

日帰り 8,600人

(2) 八尾市立大畑山青少年野外活動センター

八尾市立大畑山青少年野外活動センターは、平成21年4月1日からナックが指定管理者として運営に当たっています。現在の指定管理期間は平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間です。当センターは、八尾市の青少年健全育成施設として、青少年が野外活動を通じ、心身を鍛え、仲間や指導者と交流を深め、健やかに成長するよう、併せて、多くの市民が気

軽に野外・文化・レクリエーション活動を楽しめる施設として設置されました。

ナックではその目的を達成する為、経験豊かな専門職員を配し、環境を整え、プログラムを豊かにし、身近で親しみやすい場となるよう努めています。

施設概要

所在地：大阪府八尾市恩智中町4-55

敷地面積：20,107.05㎡

主要施設

5カ所のキャンプサイト（各サイトには自炊場・集会用大型テント・テーブル・イスが配置されています）、ファイヤー場、グラウンド、シャワー室、体育館、研修室（洋室2室、和室2室）



平成29年度の計画

利用人数

67,000人

キャンプ場：15,900人（宿泊：1,400人、日帰り：14,500人）

体育館：15,800人

研修室：35,300人

(3) 四條畷市立野外活動センター

四條畷市立野外活動センターは、平成23年4月1日からナックが指定管理者として運営に当たっています。現在の指定管理期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間です。

当センターは、生駒のやまなみの豊かな自然に囲まれた「府民の森むろいけ園地」に隣接し、野外炊事場、多目的グラウンド、天体棟（310mm ニュートン式反射望遠鏡を所有）、アーチハウス、シャワー棟などの施設があります。市民が豊かな自然環境の中で、野外活動を楽しみ、余暇時間を活用した心の安らぎや生きがい、健康づくりの場となることを願って、経験豊かな職員や指導員を配し、運営に当たっています。

施設概要

所在地 大阪府四條畷市逢阪408番地の1

面積 8,035㎡



主要施設 管理棟・野外施設（野外炊事場・多目的広場・アーチハウスなど）
天体観測室（310mm ニュートン式反射望遠鏡）など

平成 29 年度の計画

○利用人数

日帰り 13,000 人

宿泊 1,300 人

（4）竜田古道の里山公園（柏原市）

竜田古道の里山公園は、柏原市の山地・雁多尾畑の地にあり、奈良盆地や大阪平野を望める景観の地にあります。平成 28 年 4 月 1 日からナックが指定管理者として運営に当たっています。現在の指定管理期間は平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間です。

同公園には、テントサイト（10 区画）、野外すいじ場、シャワー（3 基）、セミナーハウス、グランドゴルフ場、多目的広場、イベント広場（ステージ付）などの施設があり、市民の生涯教育・スポーツの場として、どなたでも利用いただける施設です。

ナックでは、市民の皆さまの健康づくりやアウトドアレクリエーションに貢献できるよう経験豊かな職員やボランティアリーダーを配し、安心・安全の施設管理と利用者本位の運営に努めています。

施設概要

所在地 大阪府柏原市雁多尾畑
652-9

面積 34,835 m²

主要施設 管理事務所、セミナーハウス、屋根付き野外炊事場、テントサイト、
グランドゴルフ場



平成 29 年度の計画

・利用人数

宿泊 2,200 人（セミナーハウス 700 人、テントサイト 1,500 人）

日帰り 14,000 人（セミナーハウス 4,500 人、テントサイト 9,500 人）

5. 大阪府立青少年海洋センター・マリンロッジ海風館

大阪府立青少年海洋センターは、海洋活動等を通じ、青少年の健全育成を図ることを目的とし

て昭和50年（マリンロッジ海風館は平成6年）に開設されました。

ナックは、ナンプフードサービス株式会社及び株式会社ビーエスシー・インターナショナルとの共同による指定管理者として、平成18年度（海風館は平成23年度）より運営管理にあっています。現在の指定管理期間は、平成28年4月1日から平成33年3月31日の5年間で

す。
当センターは、府民に開かれた施設として、府民誰でもが手軽にヨットやカヌー等の海洋活動を体験し楽しんで頂けます。

また、府民が安心して施設を利用頂けるようリスクマネジメントの強化に努め、経験豊かな職員及び専属のリーダーが海洋活動等の相談・指導・援助に取り組んでいます。

施設概要

所在地 大阪府泉南郡岬町

淡輪 6190

面積 64,945 m²

主要施設

海洋センター

宿泊管理棟

宿泊室 42室（定員 300人）

管理事務所、食堂、シャワールーム

集会展示棟・研修室 8室、展望デッキ

体育館兼総合ホール

屋外施設・スタッフキャビン、艇庫、すいさん場、キャンプファイヤー場、浮棧橋
リフター

船舶 エンジン艇・指導救助艇 7艇、白鳥クルーザー1艇

小型ヨット 30艇、中型ヨット 7艇、カッターボート 9艇

カヌー・シングル艇 36艇、ダブル 30艇

マリンロッジ海風館

宿泊室 20室（定員 60人）、レストラン、研修室 5室、テニスコート 2面

ヨットハウス

研修室 3室

平成29年度の計画

利用人数

海洋センター利用人数 68,000人

宿泊 35,600人

日帰り 32,400人

海風館利用人数 11,900人

宿泊 7,600人



6. 調査研究・広報事業

- ① ホームページ・メールマガジンによる情報の発信
- ② 会報「NACTION」の発行
- ③ 自然体験活動実践研究
事業参加者、施設利用者の満足度調査他
- ④ 小・中・高校・大学・専門学校、企業、団体等へのセルフビルドプログラム及び人間関係トレーニングの企画及び研修会の提案、実施

7. 連携協調団体（組織）

- ① 一般財団法人大阪府青少年活動財団賛助会員
- ② 一般財団法人大阪府子ども会育成連合会賛助会員
- ③ 公益財団法人大阪府レクリエーション協会維持会員
- ④ 特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会会員
- ⑤ 特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会（CONE）会員
- ⑥ 大阪府キャンプ協会会員
- ⑦ 社会福祉法人みかり会（南あわじ市）との連携
- ⑧ 生駒市子ども・若者支援ネットワーク
- ⑨ 天見子ども自然とあそびの教室実行委員会
- ⑩ アウトドアチャレンジ実行委員会

平成29年度特定非営利活動法人ナック 予算書

単位：円

項目	29年度 当初予算額	28年度 当初予算額	増減
【経常収益の部】			
1. 受取会費	1,200,000	1,100,000	100,000
2. 事業収益	194,604,000	177,260,000	17,344,000
（1）推進事業収益	9,270,000	4,206,000	5,064,000
（2）指導者養成事業収益	1,910,000	480,000	1,430,000
（3）海洋協働事業収益	48,778,000	44,843,000	3,935,000
（4）受託事業収益	18,756,000	18,729,000	27,000
①東大阪野活センター受託事業収益	9,196,000	8,839,000	357,000
②千刈キャンプ受託事業収益	5,382,000	4,990,000	392,000
③その他の受託事業収益	4,178,000	4,900,000	▲ 722,000
（5）寝屋川センター事業収益	37,500,000	35,560,000	1,940,000
（6）八尾センター事業収益	32,850,000	30,920,000	1,930,000
（7）四條畷センター事業収益	22,700,000	21,800,000	900,000
（8）竜田古道公園事業収益	22,840,000	20,722,000	2,118,000
3. その他の収益	1,287,000	352,000	935,000
経常収益合計	197,091,000	178,712,000	18,379,000

【経常費用の部】

I 事業費	180,959,000	161,683,000	19,276,000
4. 推進事業費	8,281,000	3,088,000	5,193,000
5. 指導者養成事業費	1,794,000	520,000	1,274,000
6. 連携協調事業費	180,000	0	180,000
7. 調査研究広報事業費	300,000	90,000	210,000
8. 海洋センター運営事業費	48,058,000	42,724,000	5,334,000
人件費	47,953,000	42,619,000	5,334,000
その他の費用	105,000	105,000	0
9. 受託事業費	16,666,000	16,435,000	231,000
（1）東大阪センター受託事業費	8,437,000	8,070,000	367,000
人件費	8,437,000	8,025,000	412,000
その他の費用	0	45,000	▲ 45,000
（2）千刈キャンプ受託事業費	5,029,000	4,865,000	164,000
人件費	5,029,000	4,845,000	184,000
その他の費用	0	20,000	▲ 20,000
（3）その他の受託事業費	3,200,000	3,500,000	▲ 300,000
10. 寝屋川センター事業費	34,685,000	32,961,000	1,724,000
人件費	18,350,000	17,222,000	1,128,000

2017/4/15

その他の費用	16,335,000	15,739,000	596,000
1 1. 八尾センター事業費	30,127,000	27,941,000	2,186,000
人件費	15,340,000	14,159,000	1,181,000
その他の費用	14,787,000	13,782,000	1,005,000
1 2. 四條畷センター事業費	19,857,000	17,597,000	2,260,000
人件費	10,165,000	8,463,000	1,702,000
その他の費用	9,692,000	9,134,000	558,000
1 3. 竜田古道公園事業費	21,011,000	20,327,000	684,000
人件費	11,848,000	11,937,000	▲ 89,000
その他の費用	9,163,000	8,390,000	773,000
Ⅱ 管理費	13,675,000	14,298,000	▲ 623,000
1. 事務局管理費	13,675,000	14,298,000	▲ 623,000
人件費	4,679,000	5,128,000	▲ 449,000
その他の費用	8,996,000	9,170,000	▲ 174,000
経常費用合計	194,634,000	175,981,000	18,653,000
当期経常増減額	2,457,000	2,731,000	▲ 274,000

【経常外収益の部】

繰入金	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0

【経常外費用の部】

繰出金	0	0	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0
経常外費用合計	1,000,000	1,000,000	0
当期正味財産増減額	1,457,000	1,731,000	▲ 274,000
前期繰越正味財産額	2,830,000	4,532,000	▲ 1,702,000
次期繰越正味財産額	4,287,000	6,263,000	▲ 1,976,000